



5～6cmの小型のハゼの仲間で、季節によって生息環境が変わる。オス 美浜町産 全長：約5cm

ハゼ科 ウキゴリ属

【全長】約7cm

ピリンゴ

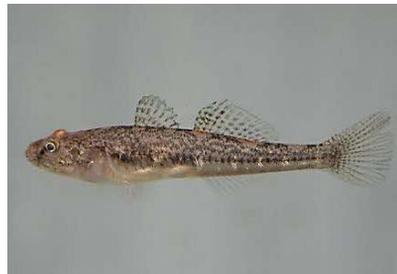
学名：*Gymnogobius breunigii*

分布域

ほぼ日本全国に分布する。

生息域

河川の汽水域や汽水湖に生息し、砂泥～泥底を好む。



近縁種と似るが第1背鰭の後縁が丸い。

汽水域に生息するこの仲間はよく似たものが多い。外観だけで区別するには経験を要する。本種は三方五湖周辺や北潟湖周辺で生息が確認されている。体色は茶褐色。成魚の第1背鰭の後縁は丸くオスは黒く縁どられる。食性は動物食性で水生昆虫や甲殻類・底生動物を食べる。産卵期は5～6月で泥底に巣穴を掘り、その壁面に産卵する。産卵後はメスが卵を保護する。孵化した仔魚は海に下り、海で成長した後、汽水～淡水域に遡上する。多くは一年でその一生を終える年魚といわれる。

水槽での飼育は可能。淡水～海水を30%前後混ぜた汽水を用いる。餌は冷凍赤虫を好み、配合飼料にも慣れる。

在来種

汽水魚

※ 汽水域に生息するこの仲間(ウキゴリ属)は、近縁種が多く似たものが多い。雌雄で形態の特徴も異なり分類には経験と知識が必要。本種は小型で雌雄とも第1背鰭の後縁が丸く、比較的容易に区別できる。